

第3回 西成区教育行政連絡会（公開の部） 議事要旨

1 日 時

令和6年12月12日（木） 午前10時00分~午前10時35分

2 場 所

西成区役所 5階 5-1・2会議室

3 出席者

(1) 区役所

区長兼区シティ・マネージャー兼教育委員会事務局西成区担当教育次長、副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、保健福祉担当部長、市民協働課長、窓口サービス課長、子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長（新今宮小学校長兼務）、成南中学校長、鶴見橋中学校長、玉出中学校長、梅南中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校長、玉出小学校長、千本小学校長、橘小学校長、まっば小学校、長橋小学校長、北津守小学校長、南津守小学校長、新今宮小学校長、（今宮中学校長兼務）

4 議事要旨

○ 令和6年度 西成区こども・教育関連事業の実施について

【説明要旨】

資料4に基づき、令和6年度西成区こども・教育関連事業の実施について子育て支援担当課長より説明。

《西成区こども生活・まなびサポート事業》

・「不登校の実質ゼロ」を目指すため、寄り添い型の支援を行う支援員及びサポーターを各学校に配置している。

・取組内容について、「登校支援」は、電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す。「訪問支援」は、学校にほとんど通うことができず、家から出られない児童生徒等に対し、児童生徒の自宅を訪問し、学習支援、相談対応など、不登校による不利益が生じないような支援を行う。区登校支援・見守り支援員の配置校は区内16小中学校。

・「居場所支援」は、学校に通うことが出来るが、教室に入ることが難しい児童生徒が登校できる校内適応指導教室（スペシャルサポートルーム）において、学びの場に定着できるように見守りを行う。区居場所支援員の配置校は区内の一部の中学校。教育委員会事務局でも同様の事業をしており、サポーターを天下茶屋中学校と南津守小学校に令和7～8年度にモデル的に配置。本格的な実施に向け、今後比較検討をしていく。

・「学習姿勢向上に向けた支援」は、小1プロブレムなどが原因で、学習姿勢が身についていない小学校低学年の児童に対し、学習に向かえるように支援する。区学習姿勢向上支援員の配置校は区内10小学校。

・進捗状況について、登校支援の成果として、令和6年度の1学期末時点では、令和5年度の1学期末時点と比べて、区内中学校では不登校在籍率が減少しているが、区内小学校では不登校在籍率が増加している。引き続き、区登校支援・見守り支援員及び区居場所支援員の有効な活用をお願いしたい。

・学習姿勢の成果として、年度当初に比べて1学期末時点では、担任による学習姿勢の評価が全ての項目で向上している。3学期末に向けて、更に学習姿勢が向上できるよう10月～11月にかけて、学校（管理職、担任、区学習姿勢向上支援員）と打合せを行った。

《外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業》

・学習言語が定着しておらず、学力に課題がある帰国・来日等の児童生徒に対して学習支援を行う事業。

・対象者は、小学校4年生～中学校3年生のうち、日本語指導教育センター校通級終了程度の生活言語を習得した児童生徒。学校から受講者を推薦していただき、国語、算数、数学、理科、社会、英語の中から、児童生徒の状況に応じて教科を決定していく。

・実施内容は、児童生徒3名に対して講師を1名配置し、個別の学習指導を行っている。小学校低学年の教材も用意しており、講師は「やさしい日本語」で教えている。

・進捗状況について、定員65名に対し小学生17名と中学生10名の参加となっているため、引き続き学校に対し受講者推薦の協力をお願いしたい。

・授業では定期的に確認テストを行っており、初回授業では受講者の現学年より遡った学年の学習をしていたが、授業が進むにつれて受講者の現学年に近づいてきている児童生徒もいる。

《学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業》

・中学校の学力診断検査や高校入試の本番を想定した模擬テストを通じて、生徒の苦手分野を把握し、生徒にフィードバックすることで自身の課題を認識させるとともに、苦手分野の反復演習をすることで、個人の学力向上を図り、ひいては学校全体の学力の底上げを図る。中学生を対象とし、5教科を実施。

・スケジュールについて、5月31日に中学3年生が模擬テストを受験。7月4日に苦手

分野の演習問題を配布。7月5日に生徒個人に対し、テスト結果を返却。事業者独自の工夫として、7月1日よりデジタルドリルの利用開始。

- ・また、中学校1・2年生は12月2日に模擬テストの受験。苦手分野の演習問題を令和7年1月下旬に配布する予定。テスト結果の返却は令和7年1月31日になる予定。
- ・進捗状況について、5月31日に受験した中学校3年生のテスト結果について、西成区の平均正答率は、5教科全てで全国の平均正答率を下回っている状況となっている。
- ・デジタルドリルの使用割合について、半数の学校が使用している状況となっている。

《発展型学習支援事業》

- ・成績中上位層を中心とした学習意欲のある児童生徒に対して、発展的な内容の学習支援を行う事業。
- ・小学校5・6年生については、基礎学力向上支援事業に参加している児童がつながりで受講する児童が多いと想定しており定員を140名と多くしている。中学生については、定員が40名となっている。
- ・実施場所は、小学生は岸里小学校、千本小学校、まつば小学校、南津守小学校、あいステーション、長橋小学校となっており、中学生は梅南中学校となっている。
- ・受講者が少なかったため、追加募集、最終募集を行った。また、ニーズ調査のために児童生徒・保護者向けのアンケートを実施。
- ・進捗状況について、小学校が定員140名に対し45名の参加、中学生が定員40名に対し31名の参加となっている。
- ・小、中学生とも自学自習形式で、始業時に本日の学習計画を個々で立て、終業時に本日の振り返りを行い、宿題内容を決めるなど、メリハリのある学習を促している。

《西成区基礎学力アップ事業（西成まなび塾）》

- ・区内の小学校5・6年生及び中学生に対し、小中学校校舎等の公共施設を活用した塾等事業者による課外授業（補習）を実施している。
- ・小学校5・6年生の参加者数の合計が14名、中学生の参加者数の合計が66名となっており、小学生は参加者数が増える余地があると考ええる。

《基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）》

- ・区内小学3・4年生に対し、夏休みや冬休み、平日の放課後を利用し、小学校で塾等の事業者による課外授業を実施している。
- ・前期授業の定員が264名に対し225名の参加、後期授業の定員が270名に対し、251名の参加となっている。

《プレーパーク事業》

- ・魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施している。
- ・令和6年度からプレイス型と体験型の2つの形態に分けて実施している。
- ・進捗状況については、プレイス型は、もと松之宮小学校16日、もと今宮小学校12日、南津守中央公園1日、西成区民センター1日の計30日間開催し、平均来場者数は73名となっている。
- ・体験型については、体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事への興味や関心を広げ、ひいては学習意欲も引き出すことを考えている。区内公園1日、区内小中学校7日の計8日間開催。実施内容は昆虫観察やスポーツ教室などを実施し、平均来場者数は112名と非常に多くの参加をいただいた。
- ・1日あたりの平均来場者数120名を目標としているが下回っている状況である。近年夏場が非常に暑く、夏季休業期間中の参加者数が少なくなっており、開催場所や日時などの再検討が必要となっている。

《西成区こどもの読書活動推進支援事業》

- ・読書活動を行うきっかけづくりとして、年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。読書の質も大事であるという意見があったことから、ふりかえりシートを導入し、読書の質も高めていく。
- ・4月～令和7年1月までが読書活動の取組期間であり、希望する学校には区長が訪問し、区長表彰を行う予定となっている。

《キャリア教育推進支援事業》

- ・西成区内在学の中学生を対象に、様々な分野で活躍するゲストティーチャーとの交流や講義を通して、ゲストティーチャーがどのような進路を選択し、どのような方法でその職業に就いたのかを学ぶなど、生徒が具体的な進路や将来の職業について考える機会を提供する。
- ・進捗状況としては、7月2日に今宮中学校で大阪エヴェッサが実施。また、7月4日に成南中学校で大阪エヴェッサが実施。10月には玉出中学校でセレッソ大阪が実施となっている。

《大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業》

- ・区内小中学校の児童生徒にプロの演奏を鑑賞してもらい、地域への愛着や誇りをはぐくみ、魅力ある地域へと変革させる人材育成につなげるとともに、将来の目標を見出している人材育成をはかることを目的として実施している。2年間をかけて全小中学校で実施する。今年度は全8校について既に実施済。

・新しい取り組みとして、9月7日（土）に小学校4年生から6年生を対象に、保護者同伴で「西成オーケストラ鑑賞会 2024」を実施。参加費は無料で、児童 37 名、保護者 35 名の来場があった。

《西成しごと博物館》

・西成区や近隣のこどもたちに、地元の企業の仕事内容を理解してもらうことで、働くことの大切さや面白さを感じてもらい、地元に誇りと愛着を持っていただくことを目的として区内の企業に出展していただき、仕事見学・体験を行う。

・毎年、好評な事業となっており、実際に体験した小学校卒業生が参加したいということで、今年度から中学生にも対象枠を拡大した。

・今年度は10月27日（日）に西成区役所4階で実施。毎年西成区民センターで実施しているが、今年度は衆議院選挙と日程が重なったため区庁舎で実施。

・今後のスケジュールとして、活動レポートを大阪府中小企業家同友会西成住之江支部南東ブロックでまとめていただいて、12月に各小中学校に配布予定となっている。

《帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業》

・帰国・来日等の児童生徒で、学校生活において日本の生活習慣等に支援が必要な児童生徒に対し寄り添い支援を行うサポーターを配置している。サポーターは有償ボランティアとしている。

・令和6年度の変更点は年間の総配置時間を600時間から1,500時間に増やし、1回の活動あたり1,500円を上限に交通費を支給することとした。

・現在活動しているサポーター数は17名で、活動実績は全校合計で651時間となっている。

《小・中学校サポーター登録事業》

・帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーターや、こども生活・まなびサポート事業の区低学年サポーターも含め、各学校で活動していただけるサポーターを区役所で募集・登録し、各学校へ紹介する。

・大阪市と連携協定を結んでいる(株)YOLO JAPANの外国人求人メディア（YOLO WORK）に帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーターの募集を掲載した。

・紹介実績については、区低学年サポーターが8名、帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーターが12名となっている。

【各学校からの主な意見・質問】

なし

第3回 西成区教育行政連絡会（非公開の部） 議事要旨

1 日 時

令和6年12月12日（木） 午前10時35分~午前11時00分

2 場 所

西成区役所 5階 5-1・2会議室

3 出席者

(1) 区役所

区長兼区シティ・マネージャー兼教育委員会事務局西成区担当教育次長、副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、保健福祉担当部長、市民協働課長、窓口サービス課長、子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長（新今宮小学校長兼務）、成南中学校長、鶴見橋中学校長、玉出中学校長、梅南中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校長、玉出小学校長、千本小学校長、橘小学校長、まっば小学校、長橋小学校長、北津守小学校長、南津守小学校長、新今宮小学校長、（今宮中学校長兼務）

4 議事要旨

○ 令和7年度こども・教育関連事業の変更点について

【説明要旨】

令和7年度こども・教育関連事業の変更点について、現時点の状況の説明を行った。

【各学校からの主な意見・質問】

令和7年度こども・教育関連事業の変更点に関して内容を確認する質問があった。

○ 令和6年度 実施事業に関する区役所からの連絡事項

【説明要旨】

次回の教育行政連絡会は、令和7年2月下旬に開催する予定。